

# 風呂バンス 1000保証書

本製品の修理に関する件は、下記製造元まで本保証書をご提示の上、ご依頼下さい。本保証書の再発行は行いませんので紛失しないよう大切に保管して下さい。

お客様	ご住所		電話		
	お名前		様 メールアドレス		
品番	<input type="checkbox"/>	S2205FB	製造番号	SF	
	<input type="checkbox"/>	P05F07B		SC	
販売店*	店名		注文番号		
お買上げ日*	年	月	日	保証期間	お買上げ日より1カ年

## 『長期使用製品無料点検サービス』のご案内

安心してご使用いただくために **3～5年点検のススメ**

故障や事故を未然に防ぎ、安心して使い続けていただけるよう、数年間使用した製品向けに『長期使用製品無料点検サービス』をご希望の方に実施しています。詳細は下記製造元までお問い合わせ下さい。

ソリステン株式会社 TEL: 06-6167-7565 e-mail: info@solisten.co.jp

キリトリ線 ✂

### 【修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。但し、下記のような場合、保証の対象外となります。●当社及び当社指定代理店・販売店以外からご購入されたもの ●インターネットオークション等でご購入されたもの ●中古品等
  - 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
    - 使用上の誤り及び不当な修理や改造、分解による故障及び損傷
      - 入浴剤・温泉水・地下水・井戸水・清浄剤の使用による故障及び損傷
      - 空焚きによるヒーター管焼けを起こした場合の故障及び損傷
    - お買上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
    - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の電源使用(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
  - (ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
  - (ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
- (ハ)本書のご提示がない場合  
(ト)本書のお買上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 無償修理をお受けになる際は、お買上げの販売店または保証書に記載してある製造元にご依頼下さい。
  - 遠方、離島で本製品を郵送等で修理依頼される場合には、その郵送等にかかる経費は実費を頂きます。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 本書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。
  - お買上げ年月日の記入がない場合は、本書とご購入を証明する納品書・領収書等をご提示下さい。
  - この保証書は、本書に明示した、期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店または製造元にお問い合わせ下さい。
  - This warranty is available only in Japan.
  - この商品は、海外ではご使用になれません。  
FOR USE IN JAPAN ONLY

# SOLISTEN

商標登録済

一般家庭用

BATH HEATER

# 風呂バンス® 1000

## 取扱説明書 【保証書付】

「風呂バンス1000」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用下さい。



ソリステン株式会社  
ホームページQRコード

MADE IN JAPAN

# SOLISTEN

製造元

ソリステン株式会社

〒536-0008 大阪市城東区関目2-3-2

TEL:06-6167-7565 mail:info@solisten.co.jp

◆本説明書に記載されている内容は、容量約250ℓの浴槽(一般家庭用)を基準としています。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は次のように区分しています。

**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。**

**警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

**注意** 人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される場合

[絵表示の例]



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
(左図の場合は分解禁止)



記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。  
(左図の場合はプラグをコンセントから抜く)

## 警告

**禁止** 改造禁止  
◎ 絶対に改造や分解修理をしない  
発火や感電、異常動作によるけがの恐れがあります。  
● 異常や故障と思われたときには製造元へご相談下さい。

**禁止**  
◎ お風呂の湯わかし・保温の目的以外で使用しない  
水またはお湯以外の液体の加熱は、火災・事故の原因になります。

**禁止**  
◎ 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する  
他の機器と併用すると発熱による火災の原因になります。

**禁止**  
◎ 延長コードを使用する際は定格15Aのものを単独で使用する  
他の機器と併用すると発熱による火災の原因になります。

**必ず守る**  
◎ プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んで使用する  
差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

## 警告

**禁止**  
◎ 傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないで下さい  
発熱による火災や感電・ショート・やけどの原因になります。

**禁止**  
◎ コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重いものをのせたり、はさみこんだり、束ねた状態で使用しない  
火災や感電の原因になります。

**ぬれ手禁止**  
◎ ぬれた手でプラグやコントロールスイッチをさわらない  
感電やショートの原因があります。

**禁止**  
◎ プラグにほこりがついた状態で使用しない  
火災・感電の原因になります。  
● ほこりがたまったときは、スイッチを切ってからプラグをコンセントから抜き、ほこりを取り除いて下さい。

**必ず守る**  
◎ 雷が鳴ったらプラグやコードにふれない  
感電の原因になります。

**禁止**  
◎ 水中での使用時以外はスイッチを入れない  
発火や異常動作によるけがの恐れがあります。  
● 異常・異臭を感じた場合、製造元へご相談下さい。

**禁止**  
◎ 本体全体が水につかっていない状態で電源を入れない  
\* 内部機構の誤作動により、火災の原因となることがあります。

**禁止**  
◎ 本体を浴槽や浴室内に入れたまま入浴しない  
転倒によるケガや、やけどの原因になります。  
入浴の際は、本体を浴槽から出して浴室外(脱衣所等)に置いて下さい。

## 安全上のご注意

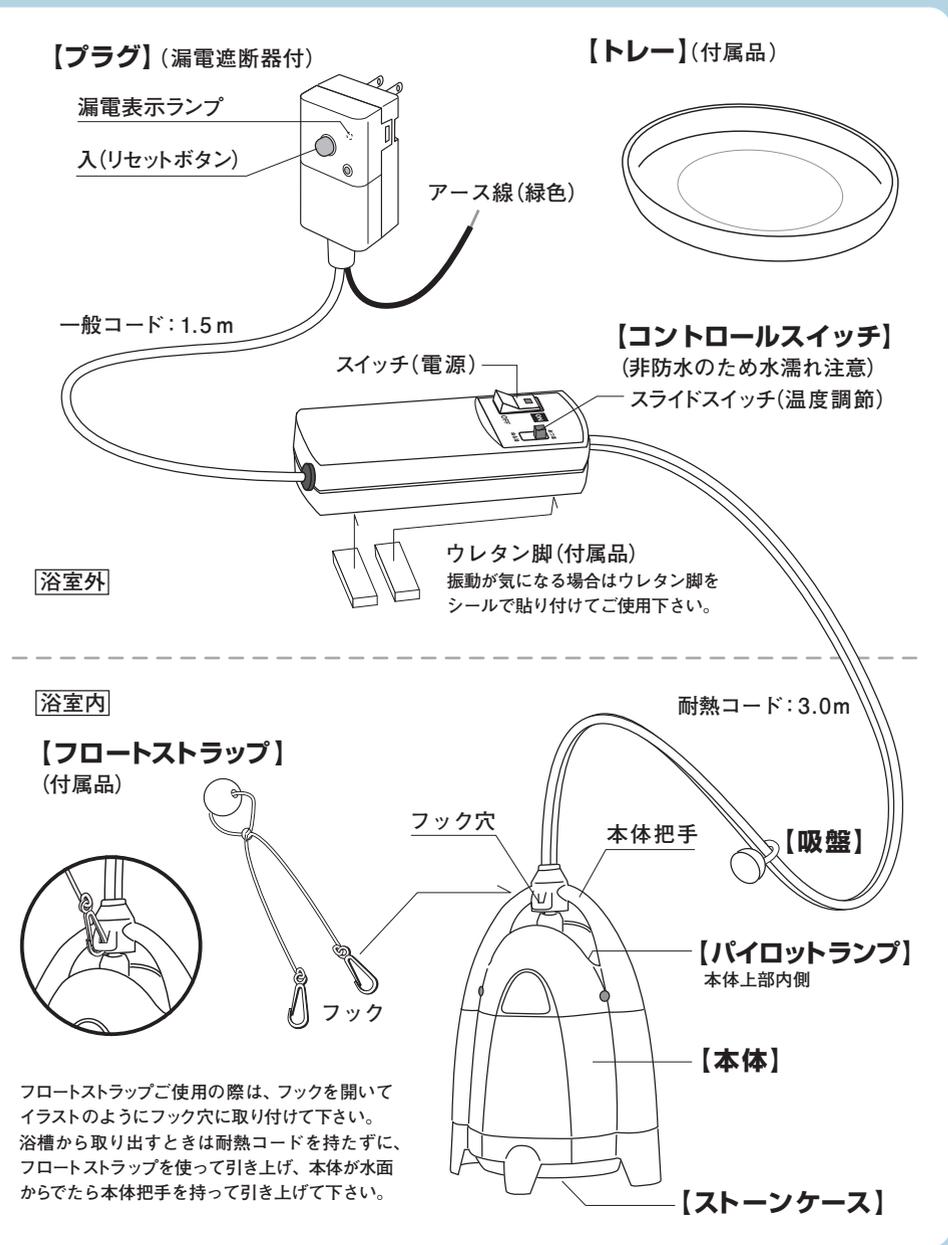
### 警告

 プラグを抜く	◎ 本体やプラグから煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは使用を中止する 火災や漏電・感電の原因になります。 ● 使用を中止し、プラグを抜いて製造元へご相談下さい。
 必ず守る	◎ 本体をコードを持って引き上げない コードが傷んで漏電や感電の原因になります。浴槽からは必ずフロートストラップか把手を持って引き上げて下さい。
 横倒し禁止	◎ 本体を横倒しのまま使用または放置しない サーモスタットやフロートスイッチの誤作動の原因になります。浴槽内外にかかわらず必ず垂直に立てて下さい。
 禁止	◎ 使用中・使用後、絶対本体の中へ手を入れない 内部機構の発熱により、やけどの原因になります。
 必ず守る	◎ 使用直後本体を逆さまにしない 内部に残っている熱湯でやけどの恐れがあります。
 プラグを抜く	◎ 使用後は必ずプラグをコンセントから抜く ● 火災や発火の恐れがあります。
 禁止	◎ 近くにガス類や引火物を置かないようにして、 本体を浴槽から取り出した後も可燃物に近づけないで下さい 発火の恐れがあり火災の原因になります。

### 注意

 プラグを抜く	◎ 電源スイッチを切ってからプラグを抜いて下さい 火災や感電・やけどの恐れがあります。
 プラグを抜く	◎ コンセントから抜くときはプラグを持って抜いて下さい 火災や感電・やけどの恐れがあります。
 プラグを抜く	◎ ご入浴の際はあらかじめ電源スイッチを切り、プラグを抜いて湯温を確かめて下さい 湯温が熱くなっている場合があり、やけどの恐れがあります。
 プラグを抜く	◎ 湯温を確認する時は必ず電源スイッチを切ってプラグを抜いて下さい 万が一漏電した場合、感電することがあります。
 お願い	◎ <b>コントロールスイッチは水に濡らさないで下さい</b> 機器故障の原因となります。
 お願い	◎ 入浴剤・温泉水・地下水・井戸水・清浄剤は使用しないで下さい 機器故障の原因となります。
 お願い	◎ 本体引き上げ時、本体より出るお湯にご注意下さい 熱くなっている場合があり、やけどの恐れがあります。 特に小さなお子様のいらっしゃるご家庭では取り扱いにご注意下さい。
 お願い	◎ <b>温度が50℃以上に上昇する場合は使用を中止する</b> ● 使用を中止し、プラグを抜いて製造元へご相談下さい。

# 各部の名前と付属品



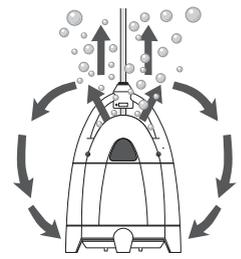
# 風呂バンス1000の特徴

## ● 強力1000Wヒーター 強力湯わかし・保温

- スイッチを入れるだけで冷水からも自動的に湯わかし、その後適温で保温します。
  - 夏場は約2~4時間で入浴可能な温度まで上げることが可能です。
  - 冬場は約8~12時間で入浴可能な温度まで上げることが可能です。
- ※地域・使用状況・水温等により異なります。(容量約250ℓの浴槽を基準としています)

## ● エアポンプ内蔵

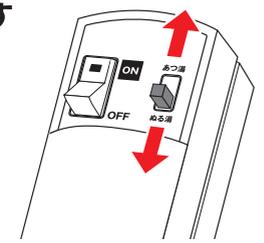
- エアポンプの対流促進作用で湯わかし、保温の効率がアップし、浴槽内上下のお湯の温度差をほぼなくすことができました。
- エアポンプによる泡の発生「泡沫効果」と、導き出される水流「攪拌(かくはん)効果」が作用して、お湯を均一に温めます。



**❗ 泡風呂ではありません。必ず本体を浴槽から出してご入浴下さい。**

## ● 温度設定「あつ湯」か「ぬる湯」が選択できます

- 「あつ湯」の温度設定 約 44℃ (±2℃)
  - 「ぬる湯」の温度設定 約 40℃ (±2℃)
- スライドスイッチを切替えるだけで簡単にお好みの温度設定に変更できます。夏場外気温が高いときには湯温が高くなる場合がありますので入浴の際はあらかじめ湯温を確かめて下さい。



## ● セラミックボール入り※ストーンケース

セラミックボールが入った簡易なる過フィルターです。  
雑菌等の繁殖を抑えるものではありません。  
 お湯は適宜入れ替えて下さい。



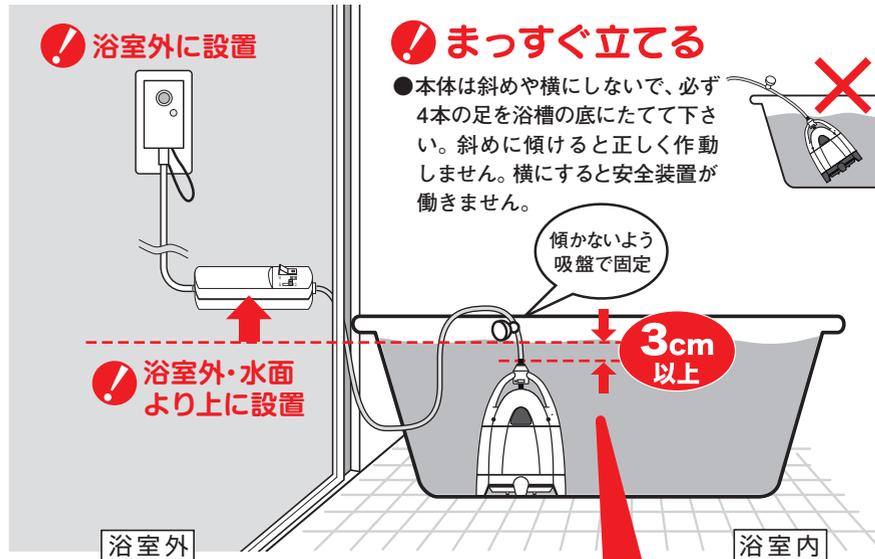
- ろ過フィルターの内容物**
- 麦飯石セラミックボール

※説明のために開けた写真を使用していますが、蓋を開けたり、内容物を取り出したりしないで下さい。

**『交換用ストーンケース』単体販売のご案内**  
 汚れが気になる場合は新品のストーンケースと交換することをおススメしています

# 使い方

## 1 「風呂ハンス1000」本体を浴槽の水またはお湯に入れる



故障の原因となりますので必ず守って下さい

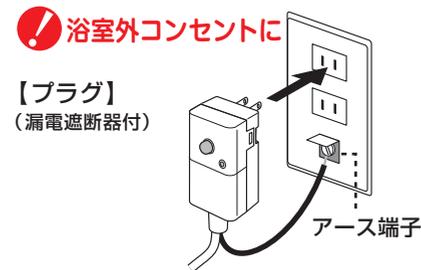
### 水量が十分でない状態で電源を入れない



●必ず水量をご確認下さい。まっすぐ立てた状態で最低でも本体が十分につかる位置まで、水またはお湯を入れてご使用下さい。水量が十分でないが故障の原因となります。

- ・本体が完全に水中につかるまで電源を入れない
- ・水またはお湯をはりながら電源を入れない
- ・電源ONのまま水またはお湯を抜かない

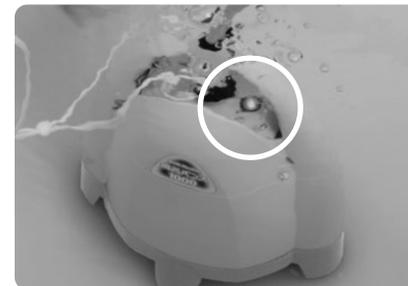
## 2 コンセントにプラグを差込む



差し込んだ後、漏電表示の消灯(正常状態)を確認  
10ページ上段参照

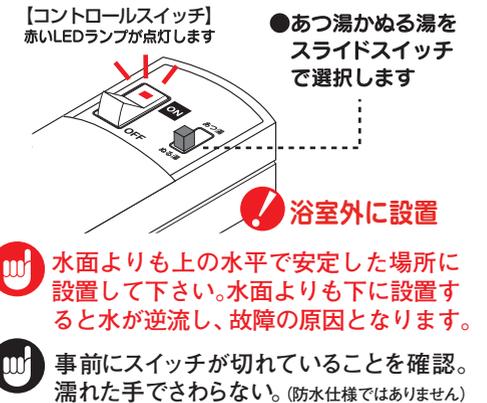
### 本体が完全に水中に浸かるまで電源を入れない

## 4 パイロットランプの点灯を確認 エアポンプも作動します

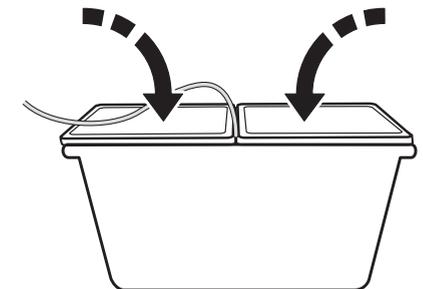


パイロットランプは通電中常時点灯します。エアポンプも常時作動し、本体上部から泡が発生します

## 3 本体が完全に水中に浸かっていることを確認し スイッチを「ON」



## 5 湯わかし・保温中はかならず フタを閉める

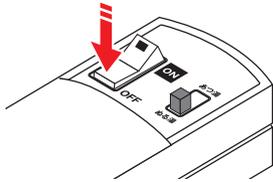


フタをしない状態では湯わかし・保温ができません。  
※エコの視点からもフタは常時ご使用下さい。

# 入浴するとき

## 1 スイッチを「OFF」にして湯温を確認して下さい

●赤いLEDランプが消灯します。



❗湯温を確認するときは必ず電源スイッチを切ってプラグを抜いて下さい  
万が一漏電した場合、感電することがあります。

## 2 内部ヒーターの冷却 必ず2分以上待ってから本体を取り出して下さい

スイッチを切った直後は内部ヒーターが高温になっています。2分待たずに空气中に引き上げるとヒートアップ現象を起こし故障の原因になります。内部ヒーターが十分に冷めてから本体を浴槽から取り出して下さい。



(使用時以外は、プラグをコンセントから抜き、本体を浴室外のトレーの上に立てる)

## 3 さあ、入浴!

ご入浴の際はあらかじめ電源スイッチを切りプラグを抜いて湯温を確かめて下さい。湯温が熱くなっている場合があり、やけどの恐れがあります。



❌ **本体を浴槽や浴室内に入れたまま入浴しないで下さい**  
転倒によるケガや、感電・やけどの原因となります。



# 漏電遮断器 / アースについて

## 【プラグ】(漏電遮断器付)

この商品には感電防止のため、プラグ部分に「漏電遮断器」がついています。使用中に異常を感知した場合、自動的に通電を遮断します

## ●コンセントに差し込んで漏電表示が消灯の時→正常です



## ●漏電表示が点灯の時→漏電の可能性がります

電気が通じていません。入(リセットボタン)を3秒程押しつけて下さい。入(リセットボタン)を押し漏電表示が消えた場合は正常に使用できます。

入(リセットボタン)をくり返し押ししても漏電表示が消えないとき、また消えてもすぐに点灯するときは製造元にご確認下さい。

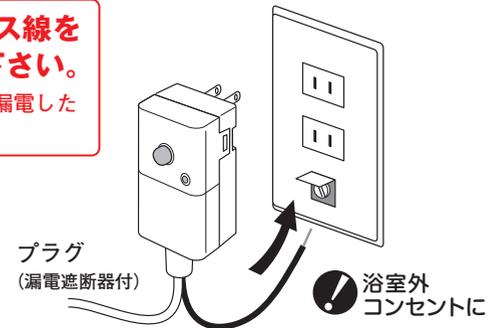
❗漏電遮断器は濡れた手で触らないで下さい。感電やショート恐れがあります。

❗プラグ部分にホコリが溜まると危険ですので定期的にお掃除して下さい。

## ●アースの方法(取付方法) ※アース端子がない場合は電気工事業者に相談して下さい。

❗ **ご使用の際は必ず、アース線をアース端子に接続して下さい。**  
アース線を取り付けないと、万が一漏電した場合、感電することがあります。

❗ 他の電化製品と同時に使用しないで下さい。タコ足配線は絶対にしないで下さい。

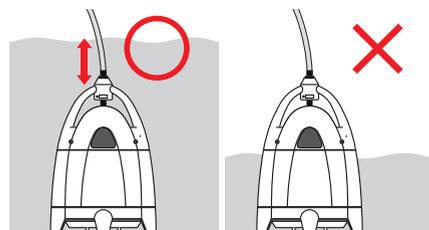


# ご使用上のご注意

## ① 水位を確認

- 本体が完全に水中につかるまで電源を入れない
- 水またはお湯をはりながら電源を入れない
- 電源ONのまま水またはお湯を抜かない

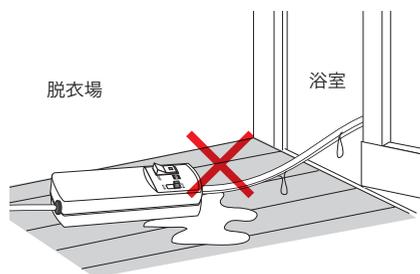
- 必ず本体の高さより上まで水またはお湯を入れて下さい。
- 水量が少ないと空焚き状態となり故障の原因となります。



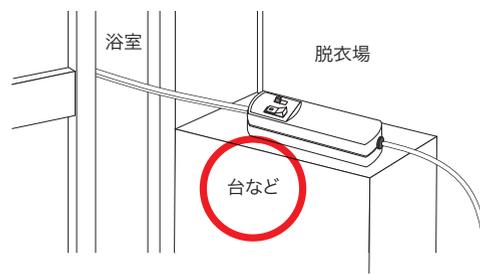
## ② 入浴剤・地下水は使用しないで下さい

- 入浴剤・温泉水・地下水・井戸水・清浄剤の不良成分が本体内部に残留し、ヒーター管等の表面に付着して故障を誘発する場合がありますので、ご使用を基本的に禁止しております。

## ③ スイッチは浴槽より上に設置して下さい



- 床面にじかに置かないで下さい。水がつたい流れて故障の原因になります。

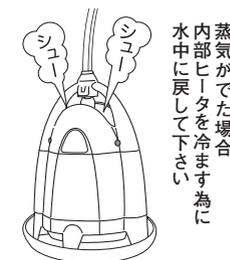


スイッチは台の上など、浴槽よりも高い位置に置いて下さい。

## ④ 内部ヒーターの冷却

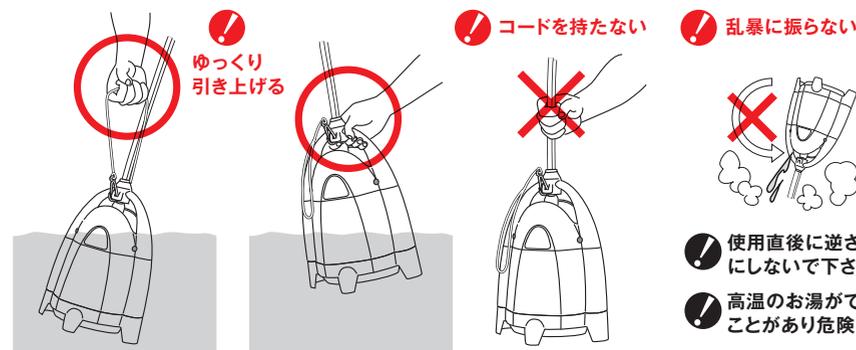
スイッチ「OFF」から水中で2分以上冷まして本体を取り出し下さい

内部ヒーターは作動中高温になっており、2分以上待たずに本体を取り出したり、電源を切らずに取り出すと、右図のように蒸気と音が出ることがあります。蒸気は、内部ヒーターの負担を軽減し、故障を防ぐために発生する仕組みになっていますが、蒸気がでた場合は、内部ヒーターを冷ます為に水中に戻して下さい。



## ⑤ 浴槽からの取り出し

- 浴槽から取り出すときは、耐熱コードを持たずに、フロートストラップを使って引き上げ、本体が水面から出たら本体把手を持って引き上げて下さい。



## ⑥ お湯は適宜お取り替え下さい

- 汚れたお湯の使用は機器故障の原因となります。

# お手入れのしかた

## ●お手入れのしかた(日常)

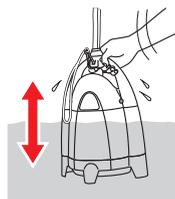
本体内部やヒーター管表面には入浴剤の成分や湯垢、水垢等が付着しやすいので定期的なお手入れをお願いいたします。特に風呂バンス1000のヒーター管部はステンレス材を使用しておりますが、長期間付着物が堆積すると故障の原因となります。

### 【本体表面】

- スポンジや、やわらかい布で水洗いして下さい。たわしやブラシ等は使用しないで下さい。石鹼水や家庭用洗剤を使用し、中性以外の洗剤や磨き粉等は使用しないで下さい。故障の原因となります。

### 【本体内部】

- 入浴時本体を引き上げる際に本体把手部を持って水中で2～3回上下にゆすって下さい。
- 本体を引き上げた後、水でゆすいで下さい。



## ●つけ置き洗い

- 定期的(月2回程度)につけ置き洗いをして下さい。
- 石鹼水または家庭用洗剤を水で薄めたものに風呂バンス本体を1時間以上浸して下さい。終了後、水でゆすいで下さい。  
(必ず電源スイッチを切ってプラグを抜いてから行って下さい)



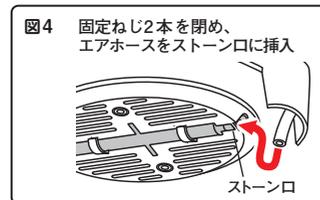
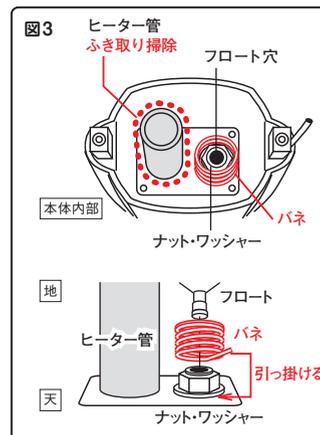
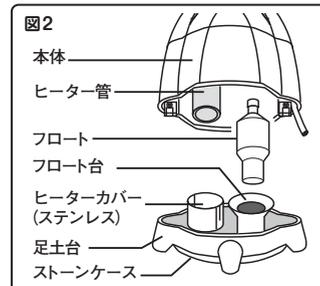
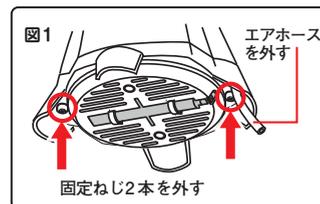
本体がすっぽり入る大きさのバケツ等

## ●半年に1度の清掃

- ヒーター管にはステンレス材を使用し、通常の汚れや衝撃等に耐える様に設計しておりますが、入浴剤や湯垢等が付着しやすく、お手入れをしないと堆積してヒーター管の故障を誘発する事があります。
- また、入浴剤・温泉水・地下水・井戸水・清浄剤等をご使用の場合は、その中の不良成分がステンレス材を錆びさせ侵食して亀裂が生じ、破断を引き起こして故障を誘発する事があります。

ヒーター管表面に付着した入浴剤や、湯垢、その他不純成分を右記の手順で清掃して下さい。

# 半年に一度の清掃



### 分解・清掃

1. ヒーターの熱やヒーターカバー内のお湯を十分さますため、電源を切りプラグを抜いて1時間以上経過してから分解を始めて下さい。
2. 本体を横にして、ヒーターカバー内の水をぬきます。エアホースをはずし、固定ねじ2本を外して下さい。
3. 足土台(ストーンケースは外さない)を取り外します。  
※足土台・ストーンケースはシャワー等ですすぎ洗いをして下さい。
4. フロートを取り外します。  
※フロートは水洗いし、汚れを取り除きます。  
※ナット・ワッシャー部にバネが組み付けてあります。清掃時に、万が一外れた場合は図3を参考に取り付けして下さい。
5. ヒーター管表面の付着物を、水または家庭用中性洗剤で濡らしたやわらかい布・雑巾・スポンジ等でふき取って下さい。  
※シンナー・ベンジン等は使用しないで下さい。  
※金属ブラシ等は使用しないで下さい。
6. 本体内部に付着した汚れをふき取って下さい。

### 組み立て

- 掃除が終了したら、本体を逆さまにして下さい。図3のようにフロート先端をバネ部とフロート穴に入れてから足土台を元通りにかぶせます。
7. 足土台の左右を間違えないように取り付けます。ヒーター管にはヒーターカバーを、フロートにはフロート台をかぶせます。その際同時にエアホースを足土台の穴に通します。
  8. 本体と足土台をしっかりと合体させ、固定ねじ2本を締めて固定します。
  9. エアホースをストーン口にしっかりと挿入し、組み立て完了です。
  10. 最後にもう一度シャワー等ですすぎ洗いをして下さい。

※清掃後にご使用の際、パイロットランプが点かない場合はフロートが正しい位置に入っていない可能性があります。再度、内部フロートの入れ直しを行って下さい。

# 使用後のご注意/保管のしかた

## ●使用後の注意

- ① 必ず電源を切る
- ② 電源が切れていることを確認する
- ③ プラグをコンセントから抜く



- ❗ 使用直後に逆さまにしないで下さい
- ❗ 高温のお湯がでることがあり危険です



- 蒸気に手を近づけないで下さい。
- 取扱い時は火傷に注意して下さい。
- 小さいお子様が近づかないよう注意して下さい。



本体には少量の水が残っていますので、お手入れのあとや長時間使用しない場合、また長期に保管される場合は、完全に本体が冷めているのを確認した後、本体を傾けて水を抜くようにして下さい。

## ●長期保管のしかた

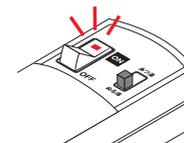
収納保管する時はプラグをコンセントから抜いて、お手入れのしかたを参考にして商品を立てた状態で化粧箱等に入れて保管して下さい。使用を始めるときは取扱説明書を再度よく読んで使用して下さい。

# |トラブル Q&A | こんなことが起こったら

## [症状1] 機能しない

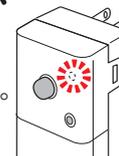
### チェック1. スイッチを入れ忘れていませんか？

スイッチの「ON・OFF」をご確認下さい。  
8ページ3番参照



### チェック2. プラグ部分の漏電表示がついていませんか？

入(リセットボタン)を押し漏電表示を消して下さい。  
※点灯の状態では通電しません。  
10ページ上段参照



### チェック3. 浴槽内で本体が斜めになっていませんか？

本体の4本の足を必ず浴槽の底に立てて下さい。  
※本体が斜めや横の状態では、本体内部の水位検知安全装置(フロートスイッチ)が正しく機能せず、湯わかし・保温が始まりません。7ページ上段参照



### チェック4. 浴槽内に十分水またはお湯がはいっていますか？

浴槽内の水またはお湯は、最低でも本体全体が十分つかる位置まで入れて下さい。本体が完全に水中につかっていない状態で電源を入れると故障の原因となります。7ページ下段参照



## [症状2] 湯わかし・保温状態が よくない

### お風呂のフタは閉まっていますか？

湯わかし・保温中は、お風呂のフタを必ず閉めて下さい。放熱により湯わかし・保温効果が得られません。8ページ下段参照



# こんなことが起こったら

## 【症状3】

本体を浴槽から出したとき、音がする

### スイッチを切ってから本体を取り出しましたか？

スイッチを「OFF」にして、プラグを抜いて必ず2分以上たってから本体を浴槽から取り出して下さい。

※スイッチを切った直後、またはスイッチを切らずに取り出すと、内部ヒーターに余熱が残っているため音又は蒸気がでることがあります。その際は一旦水中に戻して下さい。

## 【症状4】

本体が浴槽外にあるときこげ臭いにおいがする

### スイッチは切れていますか？

湯わかし・保温時以外は、スイッチを必ず切ってプラグを抜いて下さい。

※「風呂バンス1000」は、水のないところでは自動的にスイッチが切れるようになっていますが、長時間横倒しにしたり斜めに置いたりする等の不適切な保管により、まれにスイッチ異常が起こり、空焚き状態となって、異臭または本体の損傷が発生する場合があります。そのときは製造元までお問い合わせ下さい。

## 【症状5】

泡がでない

### ストーンケースにきちんとエアホースが取り付けられていますか？

エアホースは折れ曲がらない様にストーン口に取り付けて下さい。スイッチを入れてもエアが出ない場合は故障のおそれがあります。そのときは製造元までお問い合わせ下さい。



## 【症状6】

本体を動かすとカタカタ音がなる

### 正常です。本体内部の安全装置からは、音がします。

本体を振るなどすると本体内部の水位検知安全装置(フロートスイッチ)から音がカタカタなったりしますが、故障ではありません。ストーンケース内のセラミックスボールからも音がすることがありますが、故障ではありません。

## 【定格・仕様】

[本体]

製品名	風呂バンス1000
品番	S2205FB、P05F07B
電源	交流100V
周波数	50Hz / 60Hz
消費電力	最大1000W
ヒータ容量	850+150W
電源コード	□一般コード 長さ1.5m (2.0mm <sup>2</sup> ×3C), 直径8.5mm □耐熱コード 長さ3.0m (1.25mm <sup>2</sup> ×5C), 最大幅17.5mm, 直径(7.2mm+9.3mm)
安全装置	漏電遮断器、空焚き防止(フロートスイッチ)、温度過昇防止・温度制御(サーモスタット)、ヒューズ
質量	約2.8kg(商品重量)
外形寸法	幅199×奥行148×高さ296mm
付属品	トレー、フロートストラップ・ウレタン脚

- (財)日本品質保証機構「JQA総合製品安全認証制度」認証商品  
製品の仕様およびデザインは、予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

## 【保証書・アフターサービス・長期使用製品無料点検のお知らせ】

- 保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき、大切に保管して下さい。保証期間はご購入日より1年です。
- 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合はご購入の販売店または製造元にご依頼下さい。
- 保証期間中はご購入の販売店または製造元にお問い合わせ下さい。保証書の記載内容により修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎている場合は、ご購入の販売店または製造元にご相談下さい。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてご不明な点は、ご購入の販売店または製造元にお問い合わせ下さい。